

「ひろしまラウンドテーブル2021」の開催について

1 要旨・目的

「国際平和拠点ひろしま構想」に掲げる「核兵器廃絶のロードマップへの支援」の具体化に向け、東アジア地域の核軍縮・軍備管理に焦点を当てた多国間協議（ひろしまラウンドテーブル）を広島で開催することにより、核軍縮の具体的なプロセスの進展を支援する。

2 現状・背景

平成25年度に第1回を開催し、今回で8回目の開催となる。

3 概要

(1) 実施主体

へいわ創造機構ひろしま（略称HOPe）

（構成 広島県、広島県市長会、広島経済同友会、広島大学ほか 計20団体）

(2) 実施期間

令和3年8月31日（火）・9月1日（水）

(3) 場所

広島県庁（オンライン）

(4) 実施内容

ア 会議テーマ

核兵器に替わる選択について

イ 構成

○非公開セッション

- ・核兵器に替わる選択を提示するため、具体的なステップや東アジア地域の視点を中心とした議論

○公開セッション

- ・ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）共同研究「新興技術と核軍縮」の概要についての発表

○記者会見

- ・議長声明発表、議論全体の概要をまとめた政策提言発表

ウ 参加者

日本、豪州、中国、韓国、ロシア、米国や、連携協定を締結した国連軍縮研究所（UNIDIR）、ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）、英国王立国際問題研究所（チャタムハウス）等の核軍縮・国際関係の専門家・実務家

4 その他

公開セッションは聴講無料。申込方法は、8月上旬、国際平和拠点ひろしまウェブサイトにて公開予定。

<https://hiroshimaforpeace.com/>